

秋田県の建設産業の 人材確保・育成について

特定非営利活動法人 秋田道路維持支援センター

理事長 三浦 正信

秋田県の人口減少

秋田県の人口は**104**年ぶりに**90**万人を下回りました。

2025年3月1日

現在の総人口 **889, 294人**

（ 男 420, 661人 ）

（ 女 468, 633人 ）

1年間で、17, 147人減少しました。

分析

生まれた子供と死亡した人の数の差によって人口が減る「自然減」と、県外からの転入者よりも転出者が多いことで減る「社会減」がともに進んでいて、歯止めがかからない状況が続いています。

国立社会保障・人口問題研究所は、秋田県の人口は**2050年**までにおよそ**56万**人まで減り人口の半数が**65**歳以上の高齢者になると推計しています。

I. 建設産業の現状

建設業は、**本県の総生産の7.9%、就業者数の9.2%**を占めるなど、地域経済・雇用を支える基幹産業の一つです。また、社会資本整備の担い手としてだけでなく、災害や除雪への対応を通じて、県民の安全・安心の確保に大きな役割を果たしており、地域に貢献する建設業としての重要性が近年さらに高まっています。

しかしながら、長く続いてきた建設投資の大幅な減少を背景に、就業者の高齢化や若年入職者の減少が進んだことから、将来の建設工事の担い手不足等が懸念されており、人材の確保・育成が喫緊の課題となっております。

- 全産業に占める建設業の位置

	全産業	うち建設業（構成比）
総生産	36, 248	2, 861（7.9）
雇用者数（県内・就業地ベース）	419, 921	37, 781（9.0）
就業者数（県内・就業地ベース）	492, 497	45, 496（9.2）

注）「令和元年度秋田県県民経済計算年報」（令和3年3月発行）による。

・建設業の許可業者数

年 区分	25	26	27	28	29	30	31	R2	R3	R4
知事	4,036	4023	3,988	3,957	3,832	3,805	3,775	3,766	3,724	3,687
大臣	58	59	59	59	57	57	54	52	49	48
計	4,094	4,082	4,047	4,016	3,889	3,862	3,829	3,818	3,773	3,735

注）各年3月31日現在の業者数である。

・資本金階層別許可業者数（令和4年3月31日現在）

個人	法人						合計
	200万円未満	200万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 5,000万円未満	5,000万円以上	小計	
742 (19.9%)	200	931	673	1,114	75	2,993 (80.1%)	3,735 (100.0%)
1,873 (50.1%)			1,862 (49.9%)				

2. 建設産業における担い手の確保・育成等

(I) 秋田県建設産業担い手確保・育成センター（H29～R3）の取り組み状況

「若者確保」「女性活躍」「ICT活用」を柱に、入職促進に向けた取組等を実施

【主な成果】

人材確保に向けた官民一体となった取組が定着し、新規高卒者の入職者数は150人前後で推移

【若者確保】 高校生等と県内企業のマッチング機会が拡大

【女性活躍】 県内8地域で女性部会が設立され、業界全体で女性活躍に取り組む意識が定着

【ICT活用】 建設ICT研修拠点が整備され、民間主導による人材育成の仕組みが確立

【課題】

○県内産業の中でも依然として、人手不足、高齢化が顕著（有効求人倍率5倍強）

○賃金は、県内産業の中でも高い水準にあるものの、全国との格差は大きい

○賃金水準の優位性が、雇用の拡大に直接結びついていない



こうしたことを踏まえ、これまでの人材確保に向けた取組に加え、建設産業のイメージアップや各企業の経営基盤強化を総合的に支援していくため体制を拡充

(2) 秋田県建設産業活性化センター（R4～）による建設産業振興に向けた取組方針

◆センターの目指す姿

『県内建設産業の持続的な発展』

将来にわたり地域社会を支える建設産業の持続的・安定的な発展

◆重点取組方針

- Ⅰ〔人材確保〕高校生・大学生等と企業のマッチング支援
 - Ⅱ〔イメージアップ〕建設産業で働く魅力の発信によるイメージアップの推進
 - Ⅲ〔経営基盤の強化〕県内建設企業における経営基盤強化への支援
- 【高校での出前説明会】 【目標となる先輩社員紹介】 【けんせつ女子PRイベント】

総合的な支援



『新4K（給料が良い、休暇がとれる。希望が持てる、カッコいい）』の実現を目指す

3. 秋田県発注工事におけるモデル工事等

建設業は、社会資本整備はもとより、災害や除雪等への対応を通じて、県民の安心・安全の確保に重要な役割を果たしております。しかしながら建設労働者の高齢化と新規入職者の減少による次世代の担い手不足が深刻化しており、建設業における担い手確保・育成のための取り組みの一環として、平成29年度よりモデル工事を実施しています。

①女性技術者活躍モデル工事

建設業への女性の入職促進や就労継続に向けた環境整備を促進していくため、女性技術者の配置を入札参加資格要件とするモデル工事を実施します。

・令和3年度実績 36件（発注者指定型7件、受注者希望型29件）

※例えば、女性専用の快適トイレ（様式便座・防臭対策機能・照明設備・鏡付き洗面台等を備えたもの）の設置を条件とし、その費用は当初設計に計上しています。

②週休2日制工事

建設現場における若手入職と定着の促進を図り、建設業の担い手を確保・育成するために、週休2日制の普及に向けた工事を実施します。

・令和3年度実績 395件（発注者指定型124件、受注者希望型271件）

快適トイレ（例）

外観（目隠しフェンス）



内観

水洗式・洗面台等・鏡



鏡



施錠



ICT施工を導入するメリット

ICTとは、「**Information and Communication Technology**」の略称で、情報通信技術のことである。

- ・ 建設作業に伴う施工効率の向上
- ・ 作業員の安全確保
- ・ 高品質の担保
- ・ 環境負荷の低減

作業の効率化や安全確保などのメリットが期待できるので、これからICT施工の導入を検討してください。

建設工事におけるICTの流れは以下の通りです。

測量 ⇒ 設計 ⇒ 施工 ⇒ 施工管理 ⇒ 納品

令和7年度 第1回 技術講習会

ご清聴ありがとうございました。

特定非営利活動法人 秋田道路維持支援センター 理事長 三浦 正信